

# 「ありがとう」島に咲く音楽の花 SAKISHIMA=咲島 3rd アルバム 「Top Islands」

THE SAKISHIMA meeting (新良幸人×下地イサム)



## プロフィール

パーシャクラブ、ソロと様々なスタイルでエモーションな唄と三弦を奏でる石垣島・白保出身の新良幸人。

出身地宮古島の言葉「ミヤークフツ」で歌うシンガーソングライターの下地イサム。

そんな二人が組んだ先島地方発のユニット。今年で活動20周年目となり、これまでにニューヨーク、フランス、スペイン、メキシコ、ジャマイカ、キューバ、香港、台湾等、海外でも公演を行う。沖縄から全国、世界で活動中。



## 3rd アルバム 「Top Islands」

THE SAKISHIMA meeting (新良幸人×下地イサム)  
2024年9月30日 (月) リリース 12曲収録  
価格 ¥3,000 (税込み) / ARIZ-2024  
※ルビ入り歌詞、標準語訳詞 付き

### 3枚目にして金字塔のアルバム！

いにしえから受け継がれる沖縄の音楽にリスペクトの裾野を置き、そこからスタートしてどこまで頂に近づけるか、そんな二人の姿が見えるような作品。

沖縄色に縛られず、ジャンルにとらわれず、本来音楽が持つ「奔放さ」を、島唄、エイサー、音頭、ジャズ、ポップスなどで表現。

サキシマの二人があらゆる音楽要素に、こだわりを盛り込んでブラッシュアップした、まさに「らしいアルバム」に仕上がっている。

洗練されていながらどこか土臭い、人間の声を持つ独特のリズムがいたるところに鑲められているところも魅力の一つ。表現としての言葉、パフォーマンスとしての言葉を追究し、地域に限定した言葉にとらわれず、沖縄の島々、各地域の方言を自由にミックスした「美しい響きの言語」が放つ音の世界を強く意識している。

島々の喜怒哀楽と夢と希望、全てが詰まったアルバム。

## 収録曲

## ① ウムーディレイ

先島の島々を渡り歩くブローカー（仲買人）の物語。  
行く先々でゴタゴタを巻き起こすも、郷愁感などはちゃんと持っている人間味が憎めない。

## ② 伊原間クロスロード

久松五勇士の歴史を紐解く形で、到着地伊原間に焦点を当てた曲。5人の男たちがサバニを降りて伊原間の里を走るとき、船越（ふなくや）の漁師たちが実際にサバニを担いで陸を越える場面と交差したかもしれないという、想像口マンの世界。

## ③ ポーレポーレ

島の子どもたちの成長を歌う歌。あっという間に親元を離れて旅立つまでの様子やひとり立ちして新しい家族が増えていく様子をあたたかい目で見守る島の大人たちの視線。

## ④ スクは今夜虹を見た

1stアルバム「BEST」に収められているインスト曲「スクは今夜も虹を見る」に歌詞を付けたもの。  
スク漁の網の目から逃げ出した小魚「スク」が大海を旅して成魚（エグワー）になり、生まれ故郷の干瀬（びし）に戻って来るというストーリー。

## ⑤ 尺に触れ

沖縄の美しい原風景に三線の音がどこからともなく流れて来てほしいと願う主人公。そこにタイミングよく聞こえて来た三線の音。ところが音程がどうも。尺の音が少しずれているんだよなあ。三線普及の、少しだけ惜しい一面を風刺する。

## ⑥ 先島音頭

毎年恒例で開催される新意地豊年祭ライブのテーマソングとして作られた曲。大和の音頭、先島のクイチャーや六調、どちらにも当てはまるようなテンポ感を意識し、いろんな土地の沢山の人たちに踊ってほしいという願いが込められている。

## ⑦ シマータイム

庭に咲くデイゴの花を縁側から見つめ、逢えないあの人を想う切ない恋の歌。  
何気ない日常の営みの中に、枝を流れ落ちる雫に無情を感じるようなすき間がある。

## ⑧ アイヤラー

エイサーの道ジュネーは、伝統芸能を守りながら沖縄社会を元気づける。「君にこれをやるよ」みたいななさりげなさで、愛をやる人、まさにアイヤラーたちが、たくさんの人に愛を振りまいている。

## ⑨ サーティハリ

「サーティハリ」宮古島池間の言葉で、力いっぱい行きなさいという意味。早い時期に親もとを離れて旅立つ島の子どもたちに、門出の花向けとして親やおじい、おばあたちが掛ける言葉。

## ⑩ アトリエの浜

森の奥に佇むアトリエ。埃をかぶった床にぽつんと置かれた砂浜の絵。それを眺める主人公の孤独な世界。

## 《Bonus Tracks》

さんたくろうすじゃがま

## ⑪ 三太郎兄小

サキシマにだってクリスマスはある。雪は降らなくたってソリじゃなく舟（サバニ）で島々にプレゼントを届けに行く三太郎爺さんの物語。

## ⑫ サーレンユナイ

クリスマスなのに逢えない。心の中に想う人は隣の島。先島の切ないクリスマスの夜を描く。

## 2024 THE SAKISHIMA meeting 20th Anniversary LIVE

【那覇】桜坂劇場 ホールA 10月19日(土) 開演 17:30/開場 18:00 前売り 4,000円/当日 4,500円 ※ +1drink別 (全席指定)

【大阪】BananaHall 11月22日(金) 開演 18:00/開場 19:00 前売り 5,000円/当日 5,500円 ※ +1drink別 (全席自由)

【名古屋】Ebony&Ivory 11月23日(土) 開演 17:30/開場 18:30 前売り 4,500円/当日 5,000円 ※ +1drink別 (全席自由)  
11月24日(日)

【東京】南青山MANDALA 11月26日(火) 開演 18:00/開場 19:00 前売り 5,000円/当日 5,500円 ※ +1drink別 (全席自由)  
11月28日(木)

【福岡】LIV LABO 12月6日(金) 開演 18:00/開場 19:00 前売り 4,500円/当日 5,000円 ※ +1drink別 (全席自由)

【熊本】Felicia 12月8日(日) 開演 17:30/開場 18:30 前売り 7,000円/当日 7,500円 ※琉球弁当1drink付